京城日報
本紙定價 一部金五錢 ▲壹ヶ月金壹圓廿五錢 ▲參ヶ月同三圓 ▲六ヶ月同七圓六拾錢 郵券代用一割增
廣告料金 五號十四字詰一行▲一圓卅錢 同特別▲二圓六十錢 ▲二號七字詰同二圓 ▲四號十一字詰金一圓九十錢 ▲六號十六字詰金一圓三十錢
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長六千九番一、長六千九番二 振替京城三〇〇〇番

米に山東案内示

【上海十日發電】駐米公使施肇基氏の報によれば幣原大使は嘗て山東還附條件を米國々務卿ヒューズ氏に示したるが米國よりは何等の回答なしと

山東交渉調停依頼説

【上海十日發電】チャイナ、プレス紙の傳ふる所によれば日本は駐支英米兩國公使に山東問題直接交渉につき調停者たらん事を依頼したりと

支那紙極端に 山東還附案反對

【北京十日發電】小幡公使の提出せる山東還附條件の內容は不明なるため九日の新聞は三ヶ條を根據として評論を加へ居れるが僅にグン報の外他は凡て極端なる反對論を高唱し居れり

日支人雇用禁止反對令

【バンクーバー九日發電】高等法院判事マーフィ氏はブリチッシュ、コロンビヤ政府が森林採伐許可證を要するものとして日支兩國勞働者を雇用するを禁止せしめんとするを駁附する禁止命令を發せり

廣東政府の鼻息荒し

【北京九日發電】北京政府は廣東政府に對し太平洋會議に於て外交上の問題は南北一致して提案すべく其の協定方を希望せるに對し孫文氏は廣東政府は北京政府を認めずと回答せり

福田山梨兩中將 大將に陞進內定す

【東京電報】臺灣軍司令官福田雅太郎中將及び山梨陸相は本年中に大將に陞進するに內定せり其の時期は大演習後なるべし

宮內省御用掛

【東京電報】十日貴族院議員福原鐐二郎氏に對して左の通り宮內省御用掛を命ぜられたり
貴族院議員 福原鐐二郎
命宮內省御用掛（勅任待遇）
福原鐐二郎氏は十日附を以て宮內省御用掛を命ぜられたるが右は曾て大迫學習院長當時秋月左都夫氏御用掛を命ぜられたると同樣專ら學習院の政務顧問の任に當る筈なりと

南洋統治豫算

【東京電報】目下海軍本省所管下にある南洋諸島は來年度より內務省の直屬に移り同島に南洋廳を設置する事に決定せる結果明年度豫算編成に當り歸朝中なる小塚民政署長と拓殖局と審議の後統治の狀態等を參酌し詮議の上近く大藏省に回附する筈なるが右豫算額は五百萬圓以上にして內之に對する收入人頭稅移入稅を合し三四十萬圓に過ぎざれば大部分は一般會計の補給に待つ事となるべし尚南洋廳はトラスク島に設置しヤップ、サイパン兩島には支廳を設くる方針なりと

下村宏氏 朝日に入社す

【東京電報】豫て病氣の故を以て臺灣總督府總務長官を辭し來る二十一日橫濱發天津丸にて外遊の途に就くべき法學博士下村宏氏は在任中益に各方面より勸誘を受けつゝありしが愈々大阪朝日總務として入社するに決し十一日を以て發表あり右は村山社長は老齡のため激務に從事する事不可能なるより此の後任並に補佐の意味にて入社するものにて一定期間の後當然社長の椅子に著くべき前提なりと

朝鮮及臺灣の教育令改正案 近く法制局にて審議

【東京電報】朝鮮教育令改正案は既に法制局に回附濟みとなり臺灣教育令改正案も近く拓殖局の審議を經て法制局に回附せらるべきが兩案も政策上の根本問題に關係するものなるを以て相當愼重なる審議を要すべく審議終了すると直に樞密院の諮詢を經ざるべからざ[illegible]最後の決定を見るには猶相當の日子を要すべしと

朝鮮教育令案 柴田局長再上京

朝鮮教育令は既報の如く甕に柴田學務局長原案を携へて東上拓殖局の諒解を得るに至りたるを以て何時にても法制局に回附する事を得るに至れるが時恰も暑中休暇中にて法制局の審議に附するに至らず柴田局長は一先づ歸任十二三日頃暑中休暇明けを俟つて再度東上法制局に就き說明の勞を執り法制局に於ても非朝鮮教育の根本義に觸れ樞密院の嚴密なる審查を經ざるべからざるを以て愼重に審議せらるゝ筈なるが朝鮮に於ては產業調查會初會議が來る十五日より二十日迄京城に於て開催せらるゝ事となり柴田氏も委員として出席せざるべからざるを以て出發を延期し

二十日過ぎ

出發の事となるべきを以て法制局の審議に附せらるゝは二十五日頃にて愈勅令を以て發布せらるべきは早くも本年末となるべしと觀測せられつゝあるも臺灣教育令の審議と同時となり新領土政策上議論沸き三月末學年度替り迄に最後の決定を見るや否や氣遣はれ此の際總督府としては中央政府との間に極力斡旋審議を進むべき意向なりと

總督南鮮視察 十日は濟州島へ

【木浦電報】齋藤總督は既報の如く九日夜十時半公州より木浦着一泊し十日午前八時半鎭海より差廻されたる驅逐艦柏に搭乘し松是を護衞し木浦港を出發濟州島に向ひたり記者は同乘を許されず一行に加はる此日天氣晴朗なれど浪荒く七百噸の驅逐艦木の葉の如く動搖し一行中には船醉に苦しむ者を生じたるも獨り 總督のみは泰然として波の蹴る上甲板にあり正午濟州島に到着官民歡迎の中を徒歩にて島廳に至り近藤島司より島內の事情を聽取し後記念撮影をなしそれより警察署裁判所物產陳列所慈惠院等を巡視したるが小學校にては校長の請ひに依り自ら鍬を執りて記念樹を植ゑ午後三時本艦に歸り直に出發し八時

無事木浦

着夫れより旅館三吉野に山路司令官以下乘艦將校並に一行の慰勞の宴を開きたるが總督は毫も疲勞の色なく一ツ／＼客席に至りて酒杯を獻じ數時會談に耽り十時散會したり因に總督は同夜一泊翌十一朝發忠北淸州に向ひたり

九月上旬對外貿易 大藏省公表

【東京電報】九月上旬三港貿易左の如し
橫濱出超 二百八十三萬圓
大阪同 二百八十九萬三千圓
神戸入超 一千八十五萬三千圓

警察部長更迭 本月廿日頃發表

別項報導の如く京畿道警察部長千葉了氏は近く歐米に出張する事に內定し又忠淸北道警察部長小松淺五郎氏は浦潮駐在事務官山崎眞雄氏を交代して同地駐在事務官に轉任することに內定したる結果本月廿日頃二三警察部長の更迭を行ふべく千葉警察部長及小岩警察部長の後任は未定なりと

新醫學博士 久慈直太郎氏

朝鮮總督府醫院醫官久慈直太郎氏は豫て論文提出中なりしが去る七日愈醫學博士の學位を授與されたり

馬山に於ける 二百二十日 天候

【馬山電報】二百廿日の當地天候は曇天にして風なく氣溫八十度にして冷氣を感じ稻作は今後晴天續くならば豐年疑ひなしと

都市計畫と工業資源【三】

齋藤音作（投）

△三大困事の救濟は如何にせば出來るか、如何なる方法によることが最も經濟で、且安全に成功するのであるか。之は云ふまでもなく流域山岳に對する治山事業の促進に外ならぬ。卽ち急斜地の耕作や火田の濫設を取締り、森林の濫伐や稚樹の濫刈を制限し、裸地には適樹の植栽を獎し、荒廢激甚地には砂防工事及砂防造林を施行するのである然るときは流域森林は年と共に繁殖し、水源の涵養と土砂の扞止とは自ら其力を加ふるが故に、大降雨あるも大洪水を生ぜず、旱天打續くも甚だしき渴水とならず。加ふるに冬期に於ても溫度高き湧泉が到る所に注入して流水の溫度を高むるを以て河川及疏水路の流水は著しく氷結を減ずる等の大利を生じ其結果として上流、中流、下流の各地點に於て幾多の大小水電を興起し得るに至るのである。

▲要するに京城を大都市たらしめんと欲せば將來之を大工業地と爲さねばならず之を大工業地と爲さんと欲せば、廉價にして豐富なる水電を供給するの必要があり、而して之を供給せんと欲せば、一日も早く漢江流域の治山事業を起興するを要するのである。大都市の建設は至難なる大問題である深く慮かり遠く謀るに非されば目的の達成は期せられぬ。

▲工業資源の第二は原料の供給である。廉價にして豐富なる好原料の供給なしには大工業は起るものでない。然らば將來の京城市に向つて如何なる原料の大供給を豫想し得るであらうか。農產、水產、畜產、鑛產其他雜多の原料は各地より移入さるゝであらう。然し此種原料によりて、京城市を工業大都市とすることは困難であらう。如何に需要目に考ふるも此等諸原料の供給には限度があり、而して其限度は大したもので無からうと思はれる。

▲然らば將來の京城をして大工業都市たらしむるに足る主要原料は何んであるかと云ふ、余は林產物であると信ずるものである。將來京城に流入すべき木材又は其の粗製品の額は蓋し巨額に達すべきこと必然である。漢江流域の治山進捗するに於ては此流域內より生產する木材だけでも莫大なるものである。治山成れば治水も成る。南北漢江の將來は偉大なる木材輸送機關となるに相違ない。加ふるに京城を中心として鐵道、軌道、自動車道等の四通八達することも疑ふべからざることなれば、將來に於ける京城には驚くべき巨額の木材及其の粗製品が流入され、之によりて各種の大小工業が著大の發達を遂ぐべきは明かなる事實と考へる。

撤兵と在外鮮人 護道及助長行政施設の急務

山上秘氏談

約三週日に亘り北鮮、間島及浦鹽方面視察中であつた山上秘氏は此の程入城滯在中であるが氏は同方面の事情に就て語る

間島方面 間島には例の出兵以來種々の國際上の問題が未解決の儘殘されてある例へば電柱問題、賠償問題、連絡兵問題、橋梁問題等であつて今尙日支兩當局者の頭腦を惱まして居るものもあるのである賠償問題は琿春領事館燒討に對する日本の支那に要求しつゝある賠償問題で又 **連絡兵と** 云ふのは間島撤兵後日本の軍隊では連絡班なるものを今尙間島方面に駐在せしめ不逞團來襲に對する情報及警備の一部に任ぜしめて居るのが支那側で問題となつて居る電柱問題とは日本は出兵當時軍事行動の一部として軍用電信電話の必要から支那の承認を經ずして支那の領土內に電柱を建て電線を架設してあるが之れは軍から總督府遞信局へ移管し更に **支那側へ** 讓渡する事となる際であるが尙最後の解決を見る迄には至つて居らぬ、同一の理由に依つて國境上三峰から圖們江へ架設した軍用假鐵橋は之亦圖們輕鐵會社へ讓渡する事となつて居るのであるが日支國境を跨ぐものであつて國際法上から見ても解決を要する事であらう而して之等の諸問題は其一部は既に延吉道尹公署と我間島 **總領事館** との手を離れ北京外交部と東京外務省との手に移されたものもあるのであるが元來間島には約三十萬の朝鮮人が生業に安んじて居り其の地方の長官である延吉道尹陶彬氏は日本に理解を有する士であつて此の點から見ても之等の諸問題は速かに解決し紛爭を一掃する事を希望するのである、陶道尹とは恰も氏が過般奉天に赴かんとする途次 **局子街か** ら滿撤迄同行し意見を叩くの機會を得たが同氏の口吻に依れば支那の輿論が日本の傍若無人を憤慨して居る爲め感情が激越し解決が甚だ困難であると要じて居た樣であつた、西伯利方面、間島出兵は多少の意味を爲して居る如くに見た目で更に西伯利出兵の功罪を尋ぬれば日本は巨額の軍備と生靈を **無意味に** 曠野に捨たことより考へられぬ事は甚だ遺憾とする處である今月約八億圓の軍費を陸軍は年々西伯利出兵の爲に費消して居るので我軍閥が所の地を支配して居る事は事實であるが之が爲却て一般露人の排日感情を更に惡化せしめて居る事も亦思ひ半に過ぐるものがある浦鹽出兵が邦人保護の爲めであるとすれば僅五千人の邦人然も其の **二割以上** の醜業者と其他の大部分の軍隊に依つて衣食しつゝある用達業で殆ど對露貿易等に從事する者なき現在其の意味を爲さぬ事である依つて多く土地を根據とし農業に從事しつゝある多數の朝鮮人の保護の上からは多少の意義を有して居ると思はれるかも知れぬ西伯利には今五十萬乃至七十萬の朝鮮人が居ると稱せられて居るが **日本の撤** 兵後彼等が如何なる影響を蒙るかは此の際考へて置くの必要もあるであらうし又西伯利に於ても樂多政府代表ユーリン氏や松島日本代表に依て協議されつゝある大連會議の結果に依つて日本の撤兵も早晚事實として現れるものだと信ぜられて居るのである撤兵後は親日鮮人等は排日鮮人及排日露人からは大いなる **壓迫を蒙** る事であらう又本年は西伯利地方は不作である爲め從て增加跳梁する馬賊の爲めに迫害を受ける事であらうと思はれる故に彼等は三代相傳の耕作地をも拋つて何處にか避難しなければならぬと云ふ哀れな狀態に陷らんとして居る其の爲めでもあらう乎も亦歸來の途中に於ても續々と避難する朝鮮人に接近したのである之等在留朝鮮人は **其の六割** か咸北二割が咸南殘餘が各道の出身である關係上撤兵ともなれば一時に北鮮は之等歸鄕者を迎へる事となり從つて治安其他に大なる影響を受ける事であらうと信ぜられる而して爾後の西伯利は現在日本の後援に依つて生命を保つて居る浦鹽假政府は崩潰の餘儀なきに立至り極東露西亞は于夕統一政府の手に歸し共產主義の治下に置かるゝや必せりである滿洲及西伯利に在留する在外朝鮮人を如何にするは困難な問題であるが兎に角彼等は **我主權の** 及ばざる地に居住して居るが爲め我政府として彼等に對し積極的に施設を行ふ事は困難であらうが朝鮮人の保護施設及一般助長行政には今後充分の力を致し不逞鮮人の偵察情報の如きは接壤地帶の脅威を防ぐ範圍に止めて可なりであらうと信ずる

滿洲に於ける 水田事業と鮮人保護【四】

細井肇氏談

生活が確保されないで居るのに教育衞生の設備に手の屆く筈は無いが、現に教育の設備として見るべきものは、主として滿鐵が經營し、朝鮮總督府、關東廳に於て援助を與へて居る奉天、鐵嶺、開原、四ヶ所の初等機關がある丈けで、其他に何もない

滿鐵側に 云はせると、滿鐵は七百萬坪の附屬地內に於ては義務を負ふのが當然であるとして、附屬地外は領事館、卽ち外務省の責任である、現在ですら地方行政費一千萬圓中初等教育に二百萬圓中等教育に四百萬圓を割いて居る、これ丈けでも餘程重い負擔である加之日支兩國に亘つての教育費の **增加率は** 非常なもので三四年每に二倍の趨勢を示して居る、附屬地外の朝鮮人の教育までも負荷せられては到底立行かぬといふにある。管轄を云へば附屬地外は當然領事の管轄であるが、鮮人の教育又は衞生といふ實質の上から考へると、關東廳も朝鮮總督府も **他所事に** 放して置かれぬ筈である、巡回醫療機關の開設については、既に赤塚總領事から案を具して上申してあるとの事で豫算が通過さへすれば實現されるに相違あるまいが、要するに經費の一點に行くと何事も行詰まりになるらしい。國策上甚だ遺憾の次第と云はねばならぬ。瑞祥號が解散し間もなく、滿洲勸業株式會社なるもの、設立が噂された、**資本金は** 二千萬圓で、國庫から八年間乃至十年間八分の補給を得たいが植民地に對しては一般會計からの支出が不能なので鮮民保護の名の下に總督府から十萬圓關東廳から十萬圓の補給金を得やうと計畫した、然るに財界の不況の爲め其儘立消えとなつて終つた。近く東亞勸業株式會社と改名して **當初の計** 畫を實現することも傳へられ或は又過般の鮮滿重要會議に於て十一年度以降の補給金を內定したとも言はれるが、私は確實な事を知り得ないからこゝには何とも斷定を下すことは出來い、併し以前の勸業株式會社の企業說明書の如何なる部分にも一向に鮮人の保護又は救濟に言及した箇所が無い唯 **小作人に** 對する保護の一項に

（イ）窮は小作人の收入として農閑期に繩叺を綯はしめ副業を獎勵し必要なる器械を貸與する
（ロ）移住初年度一戶二百五十圓見當の貸付をなし年一割の利子一年度二年度共に八十圓三年度九十圓の定期償還法を用ふ
（ハ）收穫期籾引當に一戶平均三百圓見當で資金を貸付す利子は日步三錢七八厘

とある丈けである生活を附與することゝ而して夫れを確保することゝ之が既に生活の確立であるから生活程度の低い移住鮮農に對しては以上の三件を保護と云ふのに差支はないかも知れぬ併し同時に表言して保護といふべき程のものでない事も明かである今一つ甚だ遺憾なのは滿洲では四五年目に必ず一回凶作のあるのが實例であるのに何等夫れに對する機能と鮮人の **生活に對** する保證が明記計上されて居ない事である。無いよりはマシである否、至極結構ではあるが、會社設立の聲丈けでもだいぶ地價が昂騰するのであるが會社が出來て株主が利益して鮮人が一向に救濟されないやうでは瑞祥號の二の舞に終りはしまいか。……と憂へられる。

現代都市の理想【五】 京城市民は南山を征服せよ

……於講演會席上……

佐野工學博士演說

都市に於ける人口の密集狀態は東京も橫濱も大阪も神戸も共に似通つた所がある、京城の總面積は六百六十萬坪であつて之に二十四萬八千の市民が居住してゐる、從つて一人當りの使用坪數は相當の高に上るやうであるが事實は山林其他の地や使用されてゐない所が頗る多い、たから實際使用されてゐる市街地のみを人口に割當ると內地の大都市と同樣にかなりの密集狀態を示す譯になる次に家屋の **密集狀況** に付き一言述べて見たいと思ふ、近時日本に於ける人口の增加率は一ヶ年約七十萬人死亡率と差引きで一戶に五人宛居住するものとしても新に增加する人口に對し每年十四萬戶の家屋を增加する必要が起る、此外三萬五千の燒失家屋と六萬五千の腐朽家屋が出來るから合計二十五萬戶は建てねばならぬ道理である、然るに實際建てられてゐる戶數は一ヶ年約十二萬戶卽ち必要家屋數の半分弱に過ぎぬのである、そこで十三萬戶の不足となり六十萬人の無住者を **年々溢出** するの結果此等の人々は事情已むなく二隣借りとなり同居となり窮くべき密集の狀態を呈するに至る以上は日本全國の平均した所を述べたのであるが猶都會だけに就て見ると年々增殖さるゝ家屋數は其必要數の三分の一が辛ふじて建てられる有樣である就中東京が最も甚だしい而して東京の住宅坪數は殆ど增加せずと云ふのが當つてゐる然も同市の人口は年々五萬餘の增加を見つゝある、殊に細民部落に於て家屋の密集度は益よ濃厚となる、而して **此等の部落** にあり一戶總坪數一坪半と云ふ想像も及ばぬ小家屋に住んでゐる者が尠くないのだから聊か驚異に價する、そして大阪にも京都にも橫濱も神戸にも此れがある。恐らく京城の市內に於ても決して稀ではないと思はれる、然らば此等の密集をして如何に分散し改善すべきかが之が大なる問題なのである、徒らに分散せしめると云ふことは密集を性質とする都會の根底を破壞することになると云つて其儘に放任せんには幾多の弊害に堪へない、何うしても人の力によつて其弊を避け改善して行く方法を講じなければならぬ都市計畫の必要なる所以は實に玆にあると云ふべきである（未完）

湖南行【九】 公州より群山へ

三笑生

私は自動車の發車時間迄に朝の靜かな公州市街や、附近の史蹟を見物すべく出掛けました。公州市街は、千餘戶に過ぎない山の中の小都會ではあるが、忠淸南道に於ける行政の中心となつてゐる。流石は道路は整理されて、市街の體裁も略整つてゐる。が家屋に瓦家の稀なのは、五百年の窮政を表してるやうに感じました。然し近來富も增ゑて生活程度も高まり、家屋の構造も漸次改良されつゝあるのを見受けました。

歷史を知らない私に、詳しい沿革の、元より判らう筈はないが、熊中とか熊川とか云ふ名稱のあつた百濟以來縁故の深い都會であつたことを聞いてゐます 公州附近の景勝の地としては山城を推さねばなりますまい。公州の町端れ、錦江の南岸に突出した小高い山に城壁の見らるゝのがそれです。鬱蒼たる松林の中には、曾て中淸道の總本山であつた靈隱寺や、李　の亂に、駐蹕遺跡たりし雙樹亭などの古跡があり、また山城の北門拱北樓から、錦水の流れを俯瞰する景色など、頗る興ある話は聞いてゐるが、北處まで往くには、時間が足りないので山城見物は見合せました。

競賣信託進捗

京城競賣信託會社創立事務は其後著々進捗を見つゝあるが同社創立の趣旨は現在京城に於て會社發起人たる池田長兵衞氏等の關係せる三競賣所を打て一丸とし從來の競賣を繼續すると同時に一面最近京城にかける證券信託事業の發展と鑑み尙大に活躍の餘地ありと認め又動產不動產の競賣管理に對する信託に對しては企業する者なかりしが同社は之が端緒を開かんことを助することに在りと

人事消息

▲原田金之祐氏（朝郵取締役）十二日午後七時五十分南大門驛着
▲吉武黎氏（特調士）掛旦局に赴任中なりしが九日夜歸城せり
▲櫻井常太郎氏（九大教授）十二日朝上海十一時五十分發にて北行
▲小野卯太郎氏（飛行將校）同上
▲服部弥太郎氏（飛行將校）同上
（釜山特電）
▲杉村逸樓氏（大邱地方法院檢事正）十日午前高麗丸にて上陸十一時二十分北行（釜山電話）

東宮殿下御歸朝 記念メタル贈呈
今流行の純ゴム靴「中外草履」を來る九月貳拾日迄に當店へ直接御注文の各位に限り每日抽籤により拾人へ記念メタル一個宛を（北他へは銅メタル一個宛を洩なく）贈呈致します。御注文ははがきで男女別年齡御通知次第代金引替小包でお送り致します。前金お送りの方は送料當店持 市內は電話あり次第卽刻持參致します。
特價 男物紐附 貳圓 女物紐附 一圓九十錢 子供紐附 一圓七十錢
大阪市梅田新道東入（振替大阪三〇六〇〇番・電話北五六六番）
中外草履本舖 合資會社 第一商店 小賣部

京城光化門通一三三（李王職美術品製作所東側）
戶川醫院 電話三三四〇番
內科小兒科 產婦人科
東北醫學士 戶川武
女醫 戶川錦子

何と云つても味噌の味は大忠の此!!!
最上白赤味噌
特製 鍋味噌 賣出し
大忠味噌本舖 大阪市東區備後町二丁目 大塩田商店
電話本局二六一一・一八一〇番 振替大阪一九一〇番

專賣特許 萬年筆用、筆記用
粉末 アサヒインキ 赤、青、群青、黑、青黑
地方在住諸彥ノ爲メニ本粉末インキヲ推獎ス 携帶便ニシテ溶解容易色澤鮮麗ナリ
發賣元 川崎商店營業部 京城大和町一丁目 電話二八〇一番 振替京城六七二番

移轉開業
私儀多年米國に於て齒科學を研究いたし居候處九月十二日より明治町現物取引所南隣角に開業仕り專ら親切と丁寧とを以て治療に從事いたす可く候に付何卒御愛顧の程奉願上候也
齒科醫 ドクトル 三品敬吉

ゼニウ店

新荷到着
世界に名聲高く
米國製捕獸器御使用
◎鼠、鼬の類より猪、熊等迄容易に捕れます。
◎價格低廉にして堅牢且つ永久に耐へ使用法簡便なり
▼說明書定價表御希望の方は無代進呈す
米國オニダ會社東洋一手販賣店 橫濱市住吉町二丁目（公園前） 貿易商 吉川米次郎商店 トラップ部

東宮山田御着

御機嫌麗はしく御駐泊所神宮司廳へ入らせらる

【宇治山田發電】伊勢神宮に御歸朝報告のため御參拜の東宮殿下には十日午後三時すぎ折柄清澄なる神都の空氣を破つて二十一發の皇禮砲に擬したる祝砲驛前附近の中天に揚く中を御著車あり三時二十分御下車村井局長の御先導にて中央改札口より入らせられ堤くも奉迎諸員に一々擧手の御挨拶を賜はりつゝ驛前より菊花燦然たる小豆色自動車に召させられ入江侍從長御陪乘三時四十五分御機嫌麗しく御駐泊所神宮司廳に御著遊ばされたり

桃山御陵御參拜

御歸朝報告の爲め

【京都發電】東宮御補導の大任を了へ御歸朝あらせられたる閑院宮載仁親王殿下には御歸朝御報告のため十日午前七時二十九分京都驛御著直に自動車にて丸山公園長樂館に入らせられ御少憩の後再び自動車に召され伏見桃山御陵に御參拜御歸朝報告の後京都に御歸りあり休憩の上七時三十分發御歸京相成りたり

來年の夏

枕を高くして安眠出來る

府内の溝渠下水浚渫工事進捗す

京城府が百六十一萬八千圓の巨費を投出して大正七年度から七ヶ年の繼續事業として着手した溝渠下水浚渫改修工事は大に

進捗 し昨九年度に於て清溪川を東大門小學校裏手まで浚渫したが十年度に於ては引續きその上流の觀水橋までの浚渫をなすと共に舟橋から總督府醫院通りに向つて御路通りを横斷し東大門署前まで約百二十間に亘り深さ六尺巾八尺の鐵筋コンクリートの下水管を埋沒して鍾路裏通りの大下水道に接續せしめ、又大和町花園町幹線

即ち 黄金町四丁目三五町四番地に出づる下水溝二百三十間も幅員不規則なるを平均巾十六尺深さ六尺に改修し一方本部京城出張所の直前にかゝる下水工事も本年度に於て前溪川を超跨こし觀水橋より南方大和町一丁目に向つて四百六十間を取付け櫻井町若草町の下水溝こ接續させて流水を分岐し

北方 百七十間の工事を敦化門に向つて二なし明年度に於て臥龍洞の下水溝迄接續させる豫定であるが本年度の如上工事は重要線のみで之が完成の曉には降雨のために直に浸水の見舞を受けて居た櫻井町若草町一帶はその被害を免るゝに至り、大和町花園町幹線の改修工事が竣成せば花園町芳山町初音町一帶の低地は浸水を免れ得べく

煙草 專賣局附近の低地も大部分は水害を免るゝ事になる、本年度の工事は豫定の三分通りしか進捗して居ないが明十一年三月の年度末迄には竣工する筈で前記の各町も來年の夏には降雨が續いても枕を高くして安眠する事が出來る譯である。次にこの下水工事と關連して

國庫 補助三十萬圓を受けて十ヶ年計畫で昨年度から着手した石堤堤工事は昨年度に於て南山朝鮮神社の下附近を竣工したが本年度は工費三萬圓で奬忠壇の池に流れ込む谷川の上流と三河洞の奧細流の二ヶ所の砂防工事を完成する豫定である

◇◇秋季釋奠祭◇◇
中央參拜せらるゝは水野政務總監

龍山の妻斬り

痴話が嵩じ

十日白晝龍山署管内の梨泰院七十五番地貸商三枝忠平（　）が昨年二月桃山遊廓の娼妓を落籍して妻となし

現在同棲し て居る池田たい（　）こを斬つた刃傷沙汰がある、忠平は頗る悋氣深い男で又非常に妻を愛する爲め夫婦仲はいたつて睦じいが痴話の揚句は必ず嫉妬喧嘩が出來る忠平は又朝から牛肉買が來たので此日も早朝から鋤燒で差し向ひで五合程の酒を呑み居るうち痴話が嵩じたいは娼妓稼業中時の馴染男の事を物語つたので忠平は嫉妬を起したぎりウヌーと言ふなり床に掛てあつた

双渡二尺一 寸の大刀を抜き放ちたるより妻は驚いて身を飜し家外に飛び出たので『待つた待つて—』と大聲一喝するならん同時にたいを目覓けて大刀を投げ付た、刀は風を切つて妻の左肩から面部こ頭部に當つて重傷を負はせた此騒動を附近の者が聞きつけ馳せ集まり被害者は直に滿鐵病院に收容し一方

龍山署に急 報する者があつたので係官は現場を檢證して忠平を拘束した目下取調べ中である因に被害者は生命別條ない

滿鐵事件喚問さる

【東京發電】滿鐵事件にて三井鑛山會社の三井一二氏は十日午前十時沼檢事判事の召喚取調べを受けたり右は搭運炭坑に關し參考人こして取調られたるもの

玄海の黒潮に沈みゆく女の秘密の鍵

新婚の夢未だ消えぬ新妻が死を決するまで

對馬の沖を航行する高麗丸の甲板より暗い玄海の夜の波濤に身を投じたうら若き美人はあつた 選擧内通は程なく發見されたが事實は判らなかつた下關地報に依りて本社記者はこの謎を解くべく直に活動を開始したが遂に彼女の悲しい死の原因を知る事を得たのであつた。

京城 原田貞子この名にて何等判然しない原田貞子は京城北米倉町四十二番地金物商原田熊夫の妹であつた原田家は長男の熊夫は家督を讓り受けて兩親は隱居の身で妹の貞子は

三井 物産の事務員をして居る。貞子は八月二十四日明治町の某會社に通勤する橋本權三と京城神社にて結婚式を行ひ其夜は本町五丁目の小料亭にて披露の宴を張つた。二人の結婚は人の目にも可成幸福さうに見へて居た、夕暮にはよく二人の散歩の姿を大和町の

幸福 そふに見へて居る二人の生活には他人の窺知するを許されない内幕のむだ事情はあつたのであつた貞子は媒介者たる美術品製作所の後に菓子を商ふ松本ラサの勸めを信じて他家に嫁いだものゝ間もなく種々なる悲哀を耳にし眼にも見たのであつた因習に依る、まだ頑要に依る

結婚 は已に愛さいふ理解の缺けた不具的のものである女の盲從、屈服の無い限りはそれは圓滿幸福では無いこの結婚は忽ちにして大きな幻滅の悲哀を貞子に抱かせたのであつた結婚の幸福はその位媒介者の無人格に阻害されるか知れない彼女の美しい容貌は日毎に疲れ心は陰鬱の沼に溺れて行つた、

◆死を擇んだ貞子◆

一夜を徹して夫の歸りを待つた

奈良に行つた兄に一身の振り方を相談すべく

奇しき母親の惡夢

原田貞子が出奔する八日の前夜橋本は友人の某に誘はれてある茶屋に遊びだが貞子は夜を徹して夫の歸りを待ち詫びたがこの失望落膽の中に夜明けは來た

七時 頃橋本は遊び疲れて歸つて來ると貞子に向ひ『大變に世話になつた』から友達の處に御禮を言つて來いと貞子に命じた貞子は不眠に疲れた身體を米倉町の實家に運むで母のマツエに向つて泣きながら昨夜の始終を物語つた、マツエは貞子の言ふ事を聞くと憤然として『何でお前は意久地なした

藝者 遊びをした夫の後から御禮廻りをする奴はあるか』と醋くいつた貞子は泣くにも泣かれず母の處を去ると丁度奈良に兄の熊夫が行つて居るのに思ひついて、其處まで行つて兄に身の振方をつけて貰ふと決心するその足で直に出發したのであつた其日の午後になつて

家人 は彼女の失踪を知ると多くの人々を集めて大搜索を行つたけれども彼の女はその時には遠く南へ走つて居たのであつた、九日の夜母のマツエは眞夜中に恐ろしい夢を見た青い／＼水の中に貞子が苦しげな面を上げしお母さん／＼と切りに救ひを呼んで居た、母のマツエは驚いて救けんとしたときに

夢は 破れてマツエは床の中に轉々として出したのであつた、丁度その夢の酷い時刻に彼の女は玄海の海底に沈む時であつた、貞子は奈良に居る兄の熊夫に逃るまでもなく彼の女は悲哀に打たれて遂に世を果敢なみ死の平安を願つたのであつた

氣も急ぐ鉛筆の走り書きの遺書

手後れになつた取押願

本町署にては搜索願に依り直に釜山署に押へ方を打電したが連絡船は出航後にて術の施し樣もなく右の悲惨事を捲起したのであつた

兄上様 父母様によくしてやつて下さい 貞子より

いねお願ひします 玉ちやんを善良な娘にしてやつて下さいお願ひします おさらば吉田様にも宜しく

此の書き置きは婦人用の懷紙に鉛筆の走り書きであつた

京城府民が何の位魚を食ふか

八月中に六萬六千圓 一戸當一圓二十三錢の割

府内花園町や明治町の公設市場で魚がよく賣れる事は昨報の如くであるが一體

京城府民が 一日にどの位の魚を食つて生きて居るか？府内各生魚問屋が八月中に二十七萬の府民に供給した鮮魚は總計二萬三千九百六十八貫こ其價格六萬六千九百六十七圓で八月中にこれだけの鮮魚が京城府民の腹を肥した譯である、これを

全戸數に割 當て見ると一戸平均四百三十八匁金一圓二十三錢、一人當りは九十五匁（二十六錢六厘）となる然し鮮人で生魚を賞味するのは比較的少數であるから前記六萬六千九百餘貫の生魚は内地人が消費したものと假定して計算して見ると

一戸當りの 食量一貫四百八十匁（價格四圓十五錢六厘）一人前三百六十五匁（價格一圓二錢一厘）となる、統計によると東京市民は一ヶ月一人當りに平均一圓五十八錢の魚肉を食ひ大阪市民は二圓五十錢を食ふが京城居住の内地人の攝る魚肉量は以下である、大阪人が生魚を

多量に費消 するのは野菜の方が割合に高いので、京城も龍山水産會社が永登浦、鷺梁津及び京元沿線の各地へ供給する外多少の生魚を龍山方面へ捌いて居るし又麻浦方面で鮮人の營業する鮮魚もあるから之を加へたら京城で需給する生魚の實際量も前記數字より多少の増加を見るであらう

三萬圓の損害賠償事件

全南咸平郡新光面白雲里植林代理小川辯護士は十一日府内北米倉町二九高在元を相手取つて訴額三萬二千三百圓の損害要償の訴訟を京城地方法院民事部に提出した、明治四十四年十二月京畿道南楊州郡山內里の砂金鑛區面積四十二町餘の鑛業權に關し三萬圓以上と價格を評定して一切の權利を被告に委托した處大正九年十月該鑛區を外人に賣却したのに拘らず然も一萬八千圓こいふ廉價に賣卸し剩へ該金を騙取した許りか其の手段方法は頗る惡辣で原告の印章を僞造の上文書を作製したものである越えて大正八年原告は此事件を知つて其の不法を責めると之を否認し目下外人に六萬圓で賣却方交渉中であるから之れ防禦化し其の報酬に一萬圓見れこ言葉巧に原告を誤信せしめ二千三百圓をモノロした、依つて原告は訴額金の損害を蒙つた事が判明し本訴に及ぶこいふのが原告の主張である

喫煙室

非業の最後を遂げた專賣支局の福井氏の假寓には昔から妙な因緣のある家だ▲朝鮮家屋であつた時分にネンガミ浮氣を苦にして縊れて死んだ女があつた夫れ以來祿な事は無い▲現に此家を買收して改築した前の京城印刷の宗像君の一家は不思議こ病人の絶ゆ間がなかつた▲妻君が熱病で入院するやら宗像君が盲腸炎で入院次は令嬢も亦熱病に罹る女中がフラ／＼こ惡くなる▲之は氣の澁にも村上病院でなくなつた▲宗像君がゐた二年半さいふもの、大半は病院の通りであつたが專賣局に引渡されてから第一番に此の家へ乘込んで來たのが福井の一家だ▲之も内地から連れて來た女中が來る匆々肋膜で病院に入院する福井氏はアノ始末愈あの家は面妖なさいふ事になつた▲專賣になつて生命拾ひをしたのは宗像氏犧牲になつたのは福井氏といふ勘定▲彼家を取壞すか局員の娛樂場にでもしたら何うか

本紙五千號自祝記念

讀者慰安大會

朝鮮全道に亘り開催

京城日報は來る十月初旬を以て五千號に達する事となつた、本社が狹城の地に創立せられて十六歲其間本紙は本社の主義綱領の下に朝鮮の文化的發達の明星として

日 鮮融和の先驅者として半島の論壇に風靡せし我社が斯く光輝ある過去及現在あらしめた事は一に愛讀者諸氏の賜であつて本社は茲に五千號紀念として最に朝鮮全道に亘つて讀者慰安大會を開催する事を豫告した其後本社係員で種々研究を續けたが何分全道に亘つて十萬の愛讀者諸氏に對して均霑する樣な慰安方法をこ苦心の結果これなればこ一致した事は美しい活動寫眞を以て讀者を慰安する事こ決定した

而 して本社が今回公開するフイルムは朝鮮文化の指導であり教育方面よりも亦高級娛樂こしても與て讀者諸氏に滿足を與へ得るを確信して居る次第である、京城日報が文化的發展內鮮融和の爲に最に補載せられる有益なる記事に依りて將た其の懸賞振に依つて衆目の容す所であるが、更に

本 社に於ては最近技術優秀なる活動寫眞技師を招聘し畏の皇太子殿下御歸朝奉祝當日京城府內の奉祝實況を撮影し本社は此得難き寫眞を一般公衆に公開するに先立ち我京城日報十萬の愛讀者に觀覽せしむる事こした。既に決定したプログラムは左の通りである

一、京城府及近郊の風景大建築物（千尺）
一、東宮殿下御歸朝當日京城奉祝の實況（最長尺）
一、半島新聞界の權威たる京城日報社及毎日申報社の新聞製作の實況（千二百尺）
一、富士登山の實況　三卷　本社記者社本雪家原作
新派　同化劇『生ひ翼』四卷
一、總督府よりの提供せらる各種寫眞

其他喜劇、滑稽、手踊等數種であつて説明者は本社員の外に優秀なる

專 屬辯士を招聘して遺憾なきを期して居る、而してこれが第一回封切は來る十六日京城公會堂に行ふ事こし引續き十六、七、八、九の四日間を連ね午後七時より開催し次々的に京城方面の讀者を招待する事こした、二十日は

龍 山京城館で同樣龍山方面の讀者招待會を開き尚引續き左記全道各地に順次開催する事こしたが其日程は逐次發表すべし

本社活動寫眞巡回地

本社讀者慰安大會活動寫眞巡回地左の如し
京城、龍山、仁川、水原、天安、鳥致院、淸州、公州、江景、群山、裡里、全州、光州、木浦、大邱、釜山、馬山、開城、沙里院、平壤、鎭南浦、新義州、安東縣、兼二浦、鐵原、元山、咸興

ホストの中からお金や證券が

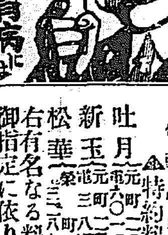
京城郵便局管內二百五十箇所の五千中に不能還付郵便物七百通

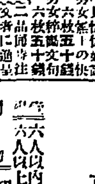
郵便 物は第一種（封書）郵便が五通、小包み八個、外に郵便の印刷物が百卅五通もあつ……鮮人三百四十五通で右の外宛名も……あらゆる苦心と努力を盡して搜査しても受取人も差出人も遂に判……

餘程 注意せねばならぬものらしく金口は掏摸が犯跡を……因に郵便ポストの……投げ込むもので……

【金澤發電】西伯利派遣第七聯隊より十日留守隊に達したる報によれば十日午前三時軍曹太郎に……

京都一商來寺　十一日全奉天軍と開戰　全國中學校野球大會にて……

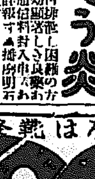


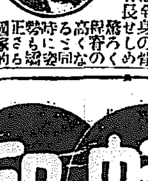


カフェーヱビス
電話四一三番
謹告　京日案内欄ニ本町目抜ノ場所ニカフェー譲渡ノ廣告以來弊店ニ對シ種々ノ交渉ヲ受ケ誠ニ迷惑致シ候右ハ全然弊店ト何等關係無之候ニ付此段謹告仕候
大正十年九月十一日
京城本町二丁目

明石市郡役所前　横山家

徳永鍼按治療院へ
鍼按灸は最も信用厚き（黄金町通り一ノ四）
主治病　胃腸病、神經痛、子宮、血ノ道、リウマチス、脚氣、腦病、マラリア





品質優秀　現金問屋
蜂印いろは讃發賣元
蜂印メリヤス
相場表進呈
大阪市東區南本町四丁目　中川商店

第貳期　江戸時代艶物珍本　會員募集
東京神田猿樂町　巴文庫

京染　今京染之最好時期　えらぎ屋京染店
京城本町三丁目（電二〇六八番）

勿驚　京龍市內同場所送迎　自動車　前金參拾圓也

御料理　七品　御酒　一本
特約料理店左記の通り
吐月（元町）　新玉（元町）　松華（元町）
新白水　上澤亭
右有名なる料亭と特約致候間各位の御指定に依り御希望の所へ御供申上べく候
龍山元町一丁目（電四一六）
田中自動車人力車部

内科　眼科　小兒科
本田病院
京城肛門病痔疾病院

京日案内
住宅　店員　募集　小店　古本　はね　金融　採用　觀相　夜警

ザクく飛んで出る
京城局で昨日燒棄てた

[illegible]十月京城局で[illegible]通、第三種（定期刊行の新聞[illegible]）[illegible]通、合計五百四十四通[illegible]したが差出人の不注意から此哀れな末路に立ち至つた[illegible]で此內譯は內地人百九十九通、[illegible]分を受るまでには郵便

不能

にも等しい郵便[illegible]ほす事があるから差出人は自己の方で都合よくして與れるだ[illegible]の利益のみならず公衆の爲にもらさいふ幼稚な考へからした[illegible]

有望な平南の甜菜
本年の收穫は昨年の一倍半
平南道種苗場主任 調農學士談

【平壤】『本年は豫想外の好成績を示せり』こいふこごを前提こして平安南道種苗場主任調武男氏は語りて曰く先づ製糖會社の甜菜の生育其他より語らんに

會社の栽培地 は平安南道に於ては大同中和江東の三郡に又黄海道は鳳山黄州の二郡に跨り其の面積實に二千八百町歩を算す。本年は最初旱魃續きたる爲一時前途を悲觀したるも其後七月に入り天候順調を保ち最も懸念したる病蟲害も至つて尠く、又一面新作者も昨年より慣れたるが爲め興味を有し熱心に從事せる結果昨年に比し頗る

良好の成績 を擧げつゝあり殊に今後晴天續き空氣乾燥すればする程甜菜の糖分富む作用旺盛になるを以て良好の結果を示すべきは疑ひを容れず本年の豫想は昨年に比し一倍半より尠き事は斷じて無かるべく爲に鮮人栽培者の顏には何れも喜色あり又甜菜の採種成績に就き述べむに昨年は降雨多かりしに反し本年は比較的尠く殊に

七月に入りて 前記の如く天候順調を保ちたるを以て生育結實共雖無く昨年反當り四石四斗なりしに比すれば本年は優に七石七斗を下らざるべしと豫想さる採種の事業は有望にて元來外國より輸入の甜菜の種は昨年の種苗斤一圓二十五錢乃至一圓に當り居れり一英斤はわが百二十匁にて一升に對し

百二十匁乃至 百目の量あり七石七斗の收穫は好成績なりと云ふべく今後益、改善を加ふれば愈有望なる事業となるべく夫れご同時に猶研究の餘地あるべし云々

朝鮮信託の其後
創立事務着々進捗
申込み夥多……賣出は見合せ

【仁川】時代の要求に迫られて勸産不斷産の貸借並に擔保貸付貸借及び仲介有價證券擔保貸付乃至は米豆雜穀綿布の委託賣買保管及び擔保貸付其他有望多事なる廣汎の事業を目的こして生れたる朝鮮信託株式會社は著々こして創立事務の進捗を見つゝあるが去る八日午後七時仁川商業會議所樓上に於て

發起人會を 開き推讀せる株式割當申込の處分、證據金拂込期日、株式賣出見合せ、朝鮮信託合名會社の權利讓り渡其他に關する主要事項の協議を遂る處あり即ち證據金の拂込期間を九月十五日迄こ決定贊成人に對しては九月夫々割當決定こ共に通知を發送せり而して當初より贊成株引受の申込みを受けたる東京の二萬株大阪よりの一萬株に對しては到底

振當の余裕 なきを以て餘義なく之を拒絕せるが萬已むを得ざるに於ては特に發起人の持株より三千株を割きて之に充當せざるべからざるに至るべしと云ふ斯の如き事情なるを以て擬に傳へられたる割當株の賣出は全然見合はす事に決したるが更に朝鮮唯一の信託會社こして特種の權利を持つ朝鮮信託合名會社代表者こ朝鮮信託株式社創立委員長この間に

權利讓渡に 關する契約書の作成あり將來同會社が前記合名會社の保有する特種の利權一切を繼承して業務を開始する事に決定せるは最も本社の有利を確保されたるものと云はざるべからず、從つて當[illegible]人會の開かれて以來僅に旬日ならずして既に證據金の拂込みを徴する迄一氣呵成に進捗せらるゝの好況亦故なしとせざるべし

尚ほ **割當株分配** に就て其後の狀況を確聞するに仁川市中の申込人に對しては其の希望の十分の一にも達せざる有樣にて京城方面の申込も亦同樣の狀態に在り其他仁川この商取引上密接なる關係を有する黄海道忠淸南北道群山木浦其他各地よりの申込に對しては絶對其希望に應する能はざるを以て其旨各關係先に夫々通知を發したりと

慶北稻作狀況

【大邱】慶北道內稻作は既報の如く一般に發育良好で目下大體は出穗中に屬する樣である而して二百十日(一日)前後に於ては病虫害の發生を見ず近年珍しき豐作であるこ期待されてゐたのであつたが其後迎日郡に浮塵子發生し一兩日前には達城郡河濱面及び達西面にも多數の該蟲を認める旨道に報告された尚ほ此外各地に點々發生した模樣で道よりは鶴崎技手其他を發生地に向つて派遣し驅除の方法を指導したが道は勿論部分的であつて一般の收穫に對して影響する程度のものではない而して目下は稻作中の一番大切の際であるから農家は此斷に充分の注意を鑄さゝれば折角豐饒を謳歌されて居る稻作も不慮の大災害を蒙るごも知れない、尤も昨今の天候は浮塵子發生の爲でもあるが稻作の狀態から云ふと今之が害虫の驅除には何等差支がない然しこ、四五日を經過するご稻作上非常な困難に陥るから農家は此際徹底的に調査した上害虫の驅除が必要であると云々こ石井技師は語つた

大豆粟作豫想

【春川】本年の江原道內に於ける大豆粟作の狀況は昨年に比べるこ大豆が三厘の減粟は二分の增收の見込であるが大豆は第一發育たる時期に旱魃の爲め砂田等は少からず乾枯して此が爲め收穫減少に至りたる其の豫想高は三十三萬三千二百三十四石此が昨年に對して一千二百八十六石の減なり粟は昨年に比して二分の增收見込で有るが本道に於ては今年の氣候が粟に對して適宜の由に從つて其の成育が良好なり其の豫想收穫高四十六萬九百四十八石を昨年に較べば一萬一千八百二十二石の增收見込あり

平澤は平年作

【平澤】平澤の商圏內たる振威、安城、陽城、竹山其他忠南北の一部に於ける稻作は中途旱魃の爲め一時悲觀の狀態にありしも植付當時の氣候順調なりし爲め、最後の降雨に引續き天候極めて順調に復したる爲め今年の稻作は少くとも平年作は充分なる見込確實となれり

輕鐵線路新設
朝鮮產鐵存續

【大邱】朝鮮產業鐵道株式會社は既報の如く去月十五日臨時株主總會の結果存續に決し爾來事業經營上の準備中なりしが愈同社第一期線たる金泉醴泉間(金泉安東線の內)約五十哩の鐵道敷設工事を急速施行する事なり本月一日同社參事保々藏氏技師工藤三郎氏以下技手數名並に工夫等金泉に來著し本月四日より金泉學校組合事務所內に再び朝鮮產業鐵道株式會社金泉建設事務所の看板を揭げ業務開始した同所に於ては一兩日中より昨年實測したる路線の再測量に著手し用地買收工事請負入札を行ひ年內には汝南驛隧道の掘鑿工事を起すべき豫定の由なるが尚數日中に取締役技師長等來泉の上工事施行上未定の事項を決定具體的發表を爲すと同時に著々事業の進捗をはかるべしと

北鮮阪神新線

【淸津】尼ヶ崎汽船活躍す北鮮の海運には大阪商船の阪神淸津線、朝郵の阪新浦線、淸津敦賀線、關門雄基線、北鮮沿岸線、神戶互光商會の阪神淸津線、北鮮汽船の伏木浦臨淸津線等があるが今度北鮮海運に資せんこて尼ヶ崎汽船株式會社が阪神淸津線を經營する事こ成つた使用船は神代丸若ヶ代丸の二艘で、本月中旬初航の運びこ成つて居る、殊に同社では近頃其の輿論たる元山淸津間の直通連絡を實現せんこ努力しつゝあるを以て相應に人氣を呼んで居る、北鮮海運界には漸に鳥取縣境港の岡田汽船株式會社が、日本海橫斷線、淸津名古屋線の航路を開くあり此々當地名顯の穀類の出穀の旺盛季に入ると云ひ海運界も頗に賑ふ事であらう

米田道知事視察

【滿州】米田知事は八日午前十時半齋藤總督一行の公州行を鳥致院に向ひたる後歸途植產株式會社の果樹園を見舞いて江外面の堤防を視察せり堤防は灌漑面積二百町歩堤堰二十四町にして今回完成したるものなり

大田神社の神輿
九日到着した

【大田】大田神社の神輿は曩に草野富士太郎、江和作藤田神主等に於て市內有志の醵金を得て京都なる西本神輿社に注文したるが九月九日愈々到着したれば九月十九日の秋季祭典は例年に見ざる賑ひを呈するならん

西湖翁平壤滯在

【平壤】前代議士伊藤西湖翁は目下櫻町妙心寺に滯在中なるが平壤紺江畔の探勝を終り此程來壤今回平壤頭南浦官民多數後援の下に一般の揮毫に應じつゝあり翁は幼より詩書を以て名あり老來意氣益、盛んなると共に書は雅致莊重を加へ今や斯界に於て白眉の稱あり又繪畫も直入翁に師事し翠石竹外等と共に並び稱せらる而も人格者だけに揮毫申込者多く書は主として平壤の勝を賦せるもののみ選び居れり

牛疫益々蔓延

高山驛 既報の如く咸南高山驛附近衛盆面に於て牛疫發生以來益、蔓延の由に本道こ殷郡に於ては其の豫防に努めたるが已を得ず鐵原四頭淮陽五頭平康三頭の發生を見たり就中斃死八頭撲死二頭に至りたり(春川)

鳳城縣 鳳城縣一帶に亘る牛疫は其後益、甚だしく同地方一帶の農家は目下秋の收穫期を控へ非常に恐慌を起し居れり(安東縣)

銀行會社
正金殖銀を見限る

滿洲殖產銀行整理問題に對し正金銀行は表面資金融通こ稱するも內實は行救濟の目的を以て擔保品を融通し尚ほ何等も制限を設けず融通すべく兩者の間に諒解なつて居たが其後殖銀の奉天財界に對する態度殊に奉天取引所信託の整理合併問題に就いての經過狀態は甚だしく誠意を欠ぎ居るやに見受けらるゝ點あり殊に七日開催の臨時株主總會に於て以前の聲明通り二十五萬圓に減資し以て奉取信並に滿鐵に對する責任を果すべき筈なるにも拘らず豫報の通り古賀專務は辭任申出を理由こして旅行し當中藍部兩氏は內地へ歸還[illegible]せず又々延期こなつた是が爲め八日に迫れる奉取信に對する回答も亦總督延期こいふ外所期する回答を得ざる爲に奉取信側の有形無形の損害は甚しく殊に少ではない如斯き狀態の銀行に對し正金が關係を持續するは正金の名聲を失墜せしむる所以であるこ云ふので八日正金は正式に殖銀こ直に手を切るべく文書を以て通知を發した(奉天)

哈爾賓取引所
創立期

目下東京精養軒大連ヤマトホテルに創立事務所を設き小泉策太郎氏を委員長こして創立事務の進捗を圖りつゝある哈爾賓取引所は爾來著々創立事務の進捗を見つゝあるを以て遲くも十月下旬迄には株式の引受當公募を終り見るべしこ因に一般公募株は目下の處三萬株の豫定にして一株三十圓以上のプレミアム付にて公募をなすべき方針なりこ(奉天)

公州電氣會社
開業式

忠淸南道公州の電燈は數年來の懸案にして其間二三の計畫者もありしが種々の故障の爲何れも中途にして挫折し更に實現するに至らざりしが昨年來福井藤人伊藤仁作及び當公州牧野秀松藤澤英夫の諸氏發起こなり種々奔走の結果會社も成立し工事も著々歩武を進め居りしが財界の變動に逢著せしため種々の故障を來し一時は兎角の批評もありしが發起人諸氏は奮闘一番諸種の困難を排し茲に目出度開業式を擧ぐるに至れり式日は九月九日午后六時櫻山公園に於て立食の宴を開き官民多數の招待をなしたり社長西卿市兵衛氏の挨拶あり續いて金知事の祝詞あり酒間內鮮紅裙の斡旋するあり又た湖山イルミネーションの裝置ありて一府の異觀を呈したり散會せしは午后十時過ぎなりき(公州)

奉取訴訟公判
開廷期

奉天取引所信託株式會社長宮越び良氏を相手取り松井鐵天氏が星田辨護士を代理こして訴訟を提起したるは既報の通りであるが其の公判は十月三日を以て奉天總領事館に於て開廷さる事こなつた、依つて奉取信では崎飯島兩辨護士を代理こして宮らしむる筈である(奉天)

仁川仲買組合總會

【仁川】仁川米豆取引所仲買組合は九月十日午後五時取引所樓上に於て組合總會を開催過般來問題未解決の委員總辭任の改選を行ふ事こなれる紛糾を重ねた辭任問題も此の總會を以て解決を見るべしこ期待されつゝあり(仁川)

ブッシゴ

【元山】▲滿鐵京城管理局元山出張所宮崎氏の談に依るご咸興退潮間廿三哩の鐵道工事は測量の結果西湖津迂回の海岸線に決定した▲同出張所長は右の用務を帶び京城に出張中だが總督府の認可あり次第直に工事に著手する筈で目下用地の買收を進行してゐる▲最初は咸興から一直線に線路を敷設する豫定で測量を試みたが中途に高山があり隧道が多くなるので三哩程延長するが海岸線を迂回する事こした今年は餘日も無いが來年は工事の進捗を見るだらう▲商議員改選期が近づいたので元山も大分活氣付いて來たが今年は會頭副會頭に何うこ云ふ人物が選出されるか未だ候補者の顏觸が確定しない

浮草 (50)
入江新八 作　守川早苗 畫

あらそひ（四）

皆子は思ひ切つて奧山秋子の家の門を這入つた。そして取次を乞ふご、若い女の聲で返事をした。その聲が、どうも道代の聲のやうだつたので、皆子はハッこ思つた。尋ねて來た女が丁度折好く返事をしたのは皆子に取つては有利なことであつたに相違ないが、それでも胸がドキ〳〵して、その返事をした女が道代で無ければ好いこいふやうに思つた。

奧の間の方から玄關に現れて來た女は果して道代だつた。道代は思ひ掛けなく皆子が玄關の土間に立つて此方を見てゐるのでオヤこ思つた。

『まあ、奧さん。……』こ云つて、暫らく皆子の顏を視詰めてゐた。何んの爲に此の女が來たのだらうか？乾度私に何か要事があつて來たのだらう……こ思つた。道代の驚きは直に消えて彼女の特有な、鬱氣な、快活な顏をして。

『まあ、能くゐらつしやいましたのね。私を訪ねて來て下さいましてか？』

『は、、餘り突然でしたけれどもね。少しあなたに逢つてお話したいこごがあつたもんですから……何でせうか。此家でお話しをするここが出來るでせうか。それこも御迷惑なら、一寸先生にお暇を頂いて外へ出ては下さいませんか。一寸で好いのですから……』

『あら、まあ、さうですの、……さあ、お上りなさいな、奧さん、些こも御遠慮なさるこごはないわ。此家は凡て解放的なんですから……』

皆子は道代の言葉が、もう癪に障つた。けれど、そんな顏色には少しも見せないで、何處までも愼ましやかに……

『でも、何だか、此方樣へ失禮のやうですわね。何なら一寸ご……』

『否ね、好いんですわ。先生も他の皆さんも皆んなそれは好い方なんです……でも、お話のこごが他聞を憚るやうなことでしたら、離室の方を拜借しますわ、さあ、お上りなさいな。』

『では、失禮して好うございますか。』

『ゑゝ……』

道代は、皆子を離室の一室に案內をした。そして、自分でお茶なごを運んで來て、

『私、此宅の御厄介になるやうになつて本當に幸福ですのよ。其後、宮崎さんにも些こもお目に掛りませんが、御變り御座いませんか？』

『は、、相變らずですわ……』こ皆子は云つた。今の道代の言葉によるこ、宮崎こ道代こは其後逢つてゐないやうに聞き做されたが、併し、何を此の女が云ふか知れやしないこ思つた。

『あの、妙なことを訊きますがね、道代さん、……宮崎こは其後あなたは逢はないのですか』

『は、些つこも。此方へ參りましてから、大變御無沙汰して……一度御禮に出なくちやならないこ思ひ乍ら、つい〳〵……』こ事も無げに道代は云つて、笑ひにまぎらすやうに後の言葉を濁してしまつた。

『あなたが旅行にお出での時は宮崎は時々お訪ねしまして？』

『は、、毎日のやうにいらつしやいました。銀行のお歸りには屹度尋ねて下さいましてよ。』

『それからは？』

『それからは些つとも……』こ道代は先を越されるやうに話を進めて行つた。『實はね、奧さん。私が此宅へ參るここになつたのは、あんな旅館住ゐをしてゐては、つひ宮崎さんだつて私のここを御心配下すつて、訪ねて來て下さるやうなここになりますわ。それでは何だか、あなたに大變濟まないやうに思ひましたのよ。……で、一日も早く生活の安定を得られるやうにこ思つて……そして、もう宮崎さんの御世話にもならないやうにしやうこ思ひましたので、……無理に此宅へお願ひして置いて頂くここにしたのですわ。……』こ道代はすら〳〵こ云つてゐた。

京城明治町二丁目　寫眞材料商　島田誠昌堂　（電話本局九五九番）

京都　出張新見本　京屋京染店　各種の染物は（龍山三角地）の京屋京染店へ　電話七五二番　振替京城八〇〇番

山田流琴曲教授　本町一丁目三番地（分教所）園田松葉　出張所 漢江通十一 吉岡方　出張所 竹添町[illegible] 今井秀市方

通信戰譜（七）
鮮內 聯珠　先勝 大藤良男（京城）　齋藤素五

△廿二の後いろ〳〵の三追の形を「ニ」ご追勝るは明こいふ△五定珠、九良しは明十二に打つも必勝なれごも本譜の方簡潔なり△六、八、十の誘惑に迷はされず十一より追詰たるは佳。但し十二の後黑十六は「ヘ」に打ち白十五黑十九、十四「に」ご打つ方一珠少なし

△附記 通信手合は遠隔地の珠友こ通信により一二珠づつ打進み行くなり通信行に變化を考究し得らるが故に技術を勝くに好適にして對局の輸贏を以て勝敗ての中宵を得たる觀あり、本社は今回珠道獎勵の爲特に五名に限り其相手を高段二段に委嘱せり、希望者は聯珠に關する經歷技術其他を記し京城平南線鮫阪勝三菱鑛山病集宅宛至急申込み有り度し

九月十二日
（舊曆八月十一日）　月曜日　己卯

▼九紫▲我が身に不釣合な企をして破れを來す目論みが第一
▼一白▲不面目千萬なる事ある出る釘は打たれるものこ知れ
▼二黑▲萬事順調に運ぶ目論せず進んで大に敵を挫く待人來る
▼三碧▲盛運の日新しき方面に活動開始して可但し驕を戒しむ
▼四綠▲技倆を認められて貴人の援助を得る自重する程有利
▼五黃▲出世の兆點こなるべき日發子女を定め婚約を結ぶ又妙
▼六白▲迂闊にして、杯喰し込まる・事あり保證紹介は禁物
▼七赤▲氣緩みなければ諸事運成するも自惚れては大破れの日
▼八白▲嬉しき事ある日開店求職其他金策縁談上なし吉

運動界

斥候中尉射殺さる

[illegible]近にて狙撃され戰死を遂げたり[illegible]

[illegible]に對し所くまでよく戰ひ[illegible]るは一勝の異こする處であら[illegible]該野球部は愈々全軍大軍こ雌雄[illegible]漢陽軍下仁[illegible]京城漢陽[illegible]九月十一日仁川[illegible]

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 電話九七五番
當る九月二日より新撰特選三大映畫提供
實寫 ストリキ鉄助學校
滑稽 サツラ、セテツト映畫 事務所の奧さん 全貮卷
日活京都派第一部製作品 尾上松之助中村扇太郎努力劇
活劇 幡隨院長兵衛 全五卷
俠客の…熱ある譯か…見よ快さ叫び壯さ叫ぶ痛快極りなし
東宮殿下御歸朝 當日の御盛況
米國パテー特作最新連續映畫公開 エーリンハーシー孃主演 ワーナーオランド氏
大活劇 第三の眼 全十五篇三十一卷ノ內
第一篇 第二篇 生死の鐵線 五卷上場
現代科學の粹を集め神秘的探偵 日活新派悲劇 紅の刃 全五卷
恩讎の二字に斷ち難き義理の念を捨てし心…
○名花一輪 ○毎週金曜日番組差換○
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

大正館 黄金町 電話八七二番
當る九月九日より四大映畫提供
實寫・滑稽 マックス他 ・ 悲劇 ・ 活劇 … 長尺
○大寫眞 有馬猫 全七卷 尾上松之助 中村扇太郎 大合同
悲劇 路傍の花 全六卷
悲劇 人の子 全四卷

東宮殿下 御渡歐御有様及御歸朝

黄金館 電話一六三七 黄金町
○毎週金曜日番組差換○ 第一回 第二回
東宮殿下 … 每月一日十五日
大活劇 幽靈騎手 六卷
新派 大正の春 全四卷

浪花館 明治町 電話二六〇番
當る九月十日より … 特別與行
神道無想狐光 … 東宮殿下

京城劇場 京城本町 電話五七八番 姬野興行部
大好評の京劇大歌舞伎一行 明十一日より
假名忠臣藏 切 奧州安達ケ原
封印切ノ場

△產婆生募集 福岡產婆養生所

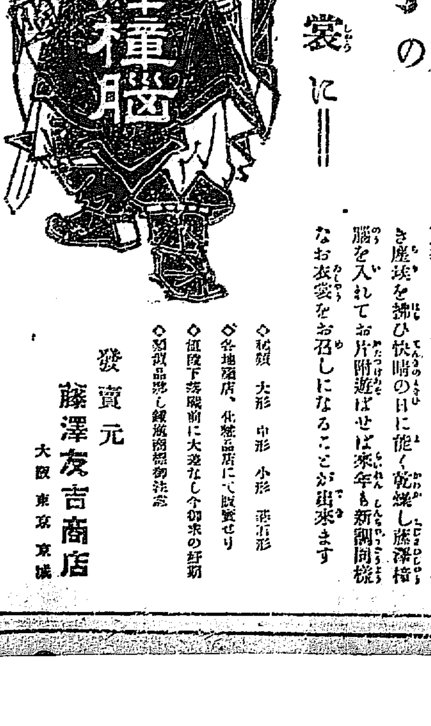
浪花座 本町五丁目 電話三三八番 壯士劇 大石妻子別れ

京龍館 電話三二番 尾上菊十郎 實川延十郎

櫻 新派悲劇 櫻の家 全四卷

電パール

後藤又兵衛 全五卷



夏季のお衣裳に
登錄商標 藤澤樟腦

夏季中にお用ひになつたお衣裳は汚點を拔き塵埃を拂ひ快晴の日に能く乾燥し藤澤樟腦を入れてお片附遊ばせば來年も新調同樣なお衣裳をお召しになることが出來ます

◇種類 大形 中形 小形 蒸形
◇各地藥店、化粧品店にて販賣せり
◇但段下落殿前に大差なし今御求の好期
◇製造品勞し纔粧商標物注意

發賣元 藤澤友吉商店 大阪 東京 京城

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一三九〇番

セメント瓦
特許セメント瓦製造株式會社
京城府明治町一丁目
龍山電話九二七番 長電話二四四番 龍山電話九一八番

艶製造販賣
防水布、雨合羽 新荷着
外套 萬套 厚子形 車夫用 雨傘 洋傘 各種 蝙蝠傘 各形 各種
廃法瓶及中瓶取替

京城本町一丁目 高木艶店 電話二三五四番

痔にはこの藥
新劑 痔疾 ヒット
HEMORRHOIDAL SUPPOSITORY "HIT"
東京肛門病院長 谷泉先生 創製

痔核。肛門裂創。痔出血。脫肛。痔瘻。肛門周圍濕疹。肛門搔痒症。其他肛門病一切を完全に治療する專門大家の科學的新製劑！切らず灼かず誰でも自宅で手輕に治療出來る。
定價一圓二十錢。二圓。特用五圓 送料市內各十二錢地方各十八錢 滿鮮各十五錢

第一先づ說明書を要求せられよ。院長の述べられた自宅治療法說明書申越次第無代進呈

發賣元 東京社藥品部 東京市[illegible]
特約店(東京)玉置、大木、小林、福井、中田。(大阪)高橋、丹平、貫藥會社。(名古屋)小林本店。外有名藥店に有

生搗精白米
篤牛家の熱望せる
紹對ニ石粉ヲ入レズ搗タ美味ニ釜ノ殖ヘル德川米
力 石田精米所 大正館前 櫻井町賣場 電話二七二番

桃谷研究試驗所創製

美顔固煉白粉

學理を最も親切に應用したる白粉

美顔白粉唯一の特色

此の頃の婦人がたは、化粧品を選ぶのに一方ならぬ注意を拂はれるやうに成りました。と云ふのは、平生使用してゐる化粧品の良否で、顔の皮膚が、長い間には思ひの外大きな變化を受けるものだと云ふ事實が分つて來たからであります。此の事實から考へて見ましても、化粧品と云ふものは苟にも手落のない、十分な設備を調へて、嚴密な上にも嚴密な科學的の研究と注意を積んで製造すべきものであつて、決して大ざつぱな考へを以て製造すべきものでない事は、更めて申すまでも無いと信じます。

有識婦人に賞用せらるゝ譯

桃谷藥學博士の桃谷研究試驗所では、夙くから深く此の點に心を用ひ、長い月日をかけて研究を重ね、學理を最も深切に應用して美顔白粉を創製し、次で各種の化粧品をも創製したのであります。美顔白粉の持つてゐる特殊の個性―特長の由來は、此處にあるのです。斯うした特長は、自然に人を引着ける力となつて美顔白粉に現はれ、それが段々と知れ渡るに從つて、現今の婦人がたは化粧料には美顔白粉を選ばれる事になり殊に智識階級の婦人がたの間に、洽く賞用せらるゝに至つたのであります。